



十一日、本部の封鎖、占拠が行なわれて以来一週間経過した。現在も封鎖は続いている。これらに学生の動きは日増しに活発化している。

六日に入ると、サークル・クラブからの大学法反対決議の首着板が自ら始めたが、これを二日に盛り上げたのは五月六日の対学生部団交と続く結果であった。

この両日の事態と団交が和泉の学生にもたらしたものは、大学当局への不信感の種を付けて、それが一気に和泉における学生の起ち上がり促進させたといえる。

動き出した和泉地区

それは、学生部は「学生と大学側のパイプ」と言いながら「学生の面前に現れないよう」（松田学生部長談）との学部長会議（五日）に従い、事実上、逃げ隠れ、

いかに学内秩序を乱すか、支配者の権威に基いた政治的権威を弄して、いかに学生を扇動したかと言え。

その後、加藤憲のクラス討論・決議が、またク・闘争委・サークル闘争委、同業会が種々と結成された。そして十一日の全兵

この大会で政経学部闘争委より出された和泉本部封鎖提案を採択した。たまたま封鎖占拠が行なわれた。一号館——正面入口付近には一般学生約五〇人が集まり抗議する場面も見られたが、混乱はなく実行された。全兵闘争準備会ではこの封鎖について「幾多の団交で諸

「この告示は本学が中教養大学を鎖組と一般学生との分断策動以外なものでもない」と強い批判と不満の声が上がっている。

封鎖以後、「今こそ一般学生の団結」とノックアウト連合、クラス連合も結成されてきた。また、立憲も花ざかりで、各クラス・サークルとも立法に対しての意志一致しつつある。商一二などバリ

スト支持を表明するもの、他方、経営二などでバリスト反対の決議を出した組もあり十六日にはクラス、学部別の学内デモが行なわれるなど、和泉は徐々に動き始めた。

「では直ちに五号館全館をバリケード封鎖したいと考えます」。

議長の声に「イギナシ」の歓声があがった。大会を見守っていた学生部職員などの動きがにわかにあわただしくなる。

午後十一時三十分すぎ、二部文学部闘争委員会（略称二文闘委）の学生約五〇人は、そのほとんどが黒やスカイ・ブルーのヘルメットをかぶり、五号館のカギを奪取するため本館守衛室にむけてノンストレージョンを開始した。「リップ・フン・サイ」「トロー

「この告示は本学が中教養大学を鎖組と一般学生との分断策動以外なものでもない」と強い批判と不満の声が上がっている。

封鎖以後、「今こそ一般学生の団結」とノックアウト連合、クラス連合も結成されてきた。また、立憲も花ざかりで、各クラス・サークルとも立法に対しての意志一致しつつある。商一二などバリ

スト支持を表明するもの、他方、経営二などでバリスト反対の決議を出した組もあり十六日にはクラス、学部別の学内デモが行なわれるなど、和泉は徐々に動き始めた。

「では直ちに五号館全館をバリケード封鎖したいと考えます」。

議長の声に「イギナシ」の歓声があがった。大会を見守っていた学生部職員などの動きがにわかにあわただしくなる。

深夜の五号館封鎖

「これは直ちに五号館全館をバリケード封鎖したいと考えます」。

議長の声に「イギナシ」の歓声があがった。大会を見守っていた学生部職員などの動きがにわかにあわただしくなる。

午後十一時三十分すぎ、二部文学部闘争委員会（略称二文闘委）の学生約五〇人は、そのほとんどが黒やスカイ・ブルーのヘルメットをかぶり、五号館のカギを奪取するため本館守衛室にむけてノンストレージョンを開始した。「リップ・フン・サイ」「トロー

「この告示は本学が中教養大学を鎖組と一般学生との分断策動以外なものでもない」と強い批判と不満の声が上がっている。

封鎖以後、「今こそ一般学生の団結」とノックアウト連合、クラス連合も結成されてきた。また、立憲も花ざかりで、各クラス・サークルとも立法に対しての意志一致しつつある。商一二などバリ

スト支持を表明するもの、他方、経営二などでバリスト反対の決議を出した組もあり十六日にはクラス、学部別の学内デモが行なわれるなど、和泉は徐々に動き始めた。

「では直ちに五号館全館をバリケード封鎖したいと考えます」。